

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	90時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車シャン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング
	2	エンジン本体	ガソリンエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑装置	オイルの循環・構造・機能
	4	冷却装置	冷却装置の概要・構造・機能
	5	燃料装置	インジェクタ・ポンプの概要・構造・機能
	6	シャン総論	原理と性能・構成・安全装置
	7	動力伝達装置	クラッチ・ミッション等の動力伝達装置の概要・構造・機能
	8	アクスル・サスペンション・ステアリング装置	スプリング・ショックアブソーバ・ステアリングの概要・構造・機能
	9	ホイール・タイヤ・ブレーキ装置	ホイール・タイヤ・ディスクブレーキ・ドラムブレーキの概要・構造・機能
	10	フレーム・ボディー	フレーム・ボディーの概要・構造・機能
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	鈴木 友二
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン、3級自動車ジーゼル・エンジン、3級自動車チャン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ジーゼルエンジン総論・エンジン本体	内燃機関の概論・分類・作動方式・燃焼方式・バルブタイミング ジーゼルエンジンの概要・構造・機能
	2	燃料装置	インジェクションポンプの種類・構造・機能
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	自動車整備士に必要な基礎的な計算が出来るようになる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学・補助プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	基礎知識	単位・単位の変換
	2	基礎的な原理・法則	変速比、トルク、回転数
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	電気・電子の概要	電気と磁気・電子
	2	電気・電子の概要	電気と磁気・電流の三作用
	3	電気・電子の概要	電気と磁気・電源と起電力
	4	電流の種類	直流と交流
	5	接続の種類	直列接続と並列接続
	6	基礎知識	電圧降下
	7	基礎知識	電力及び電力量
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	材料学	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	自動車の材料	鉄鋼・鋳鉄・鋼
	2	自動車の材料	焼結合金・製法・特性・用途
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	燃料・潤滑剤	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	燃料	燃料の種類(ガソリン、軽油、LPG)
	2	燃料	燃焼の仕方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	14.4時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン本体(ガソリン)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備
	2	潤滑装置(ガソリン)	潤滑装置の整備
	3	冷却装置・燃料装置(ガソリン)	冷却装置・燃料装置の整備
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	21.6時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ジーゼル・エンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	エンジン本体(ジーゼル)	エンジン本体(シリンダヘッド・ブロック・ピストン等)の整備
	2	潤滑装置・冷却装置(ジーゼル)	潤滑装置の整備
	3	燃料装置(ジーゼル)	インジェクションポンプの整備
	4	吸排気装置(ジーゼル)	吸排気装置の整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	動力伝達装置	動力伝達装置(クラッチ)の整備
	2	動力伝達装置	動力伝達装置(ミッション)の整備
	3	アクスル及びサスペンション	アクスル及びサスペンションの整備
	4	ステアリング装置	ステアリング装置の整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数	36時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリン・エンジン		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	半導体	半導体の種類・特徴
	2	バッテリー	バッテリーの概要・構造・機能・整備
	3	始動装置	始動装置の概要・構造・機能・整備
	4	充電装置	充電装置の概要・構造・機能・整備
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	整備作業機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	整備の基礎知識	整備作業の目標・労働安全・公害
	2	基礎整備作業	ハンドツールの使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	測定機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン・シャシ点検作業	ノギス、マイクロメータ、ダイヤル・ゲージ、Vブロックの使い方
	2	エンジン・シャシ点検作業	シリンダ・ゲージ、シクネス・ゲージ使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査機器	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車整備作業		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	検査整備作業	ブレーキテスタ・サイドスリップテスタ・スピードメータテスタの使い方
	2	検査整備作業	音量計・ヘッドライトテスタ・ホイールアライメントテスタの使い方
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	手仕上げ工作	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	18時間	週時間数	18時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	真鍮棒、弓ノコ、鉄板		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ミニピストン作成	弓のこを使った材料の切り出し・真鍮によるミニピストン作り
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	機械工作	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	グラインダー、卓上ボール盤、電気ドリル		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	作業機械の取り扱い	グラインダー・ボール盤等の電気機械の取り扱い
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	基本計測	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	45時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ノギス、マイクロメーター、シックネスゲージ、ストレートエッジ等		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	計測機器の説明・測定	ノギス、マイクロメーターで計測 シリンダゲージ・ストレートエッジ・シックネスゲージ・スコヤで計測
	2	エンジン基本計測	プラグギャップゲージ・タイミングライトで計測 コンプレッションゲージ・バキュームゲージで計測
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備		指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事			実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年	
授業方法	講義:	演習:	実習:○	実技:
時間数	140時間	週時間数	36時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	エンジン単体(ガソリン・ジーゼル)			
授業外学習 の方法	レポート内容の復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)分解・名称確認	
	2	ガソリンエンジン	ガソリンエンジン単体(4気筒)計測・組付け	
	3	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)分解・名称確認	
	4	ジーゼルエンジン	ジーゼルエンジン単体(4気筒)計測・組付け	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	67時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン本体(特殊エンジン)		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の分解・名称確認
	2	特殊エンジン	ロータリーエンジン・水平対向エンジン単体の計測・組付け
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験： 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義：	演習：	実習：○ 実技：
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・ミッションの脱着・分解・組立
	2	アクスル及びサスペンション	前後サスペンション・アクスルの脱着・分解・組立
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	135時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ステアリング装置	ステアリング装置の脱着・分解・組立
	2	ホール・アライメント	ホール・アライメントの測定・調整
	3	ブレーキ装置	ディスクブレーキ装置の脱着・分解・組立
	4	点検整備	定期点検の内容確認・実施
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	サーキットテスタ	サーキットテスタでの測定方法
	2	バッテリー	バッテリーの点検・脱着
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	山本 巧
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に6年、板金・塗装業務に4年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	126時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両、電装品単品		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	始動装置	スターターモータの脱着・分解・組立・点検
	2	充電装置	オルタネータの脱着・分解・組立・点検
	3	点火装置	ディストリビュータの脱着・分解・組立・点検
	4	予熱装置	グロープラグの脱着・分解・組立・点検
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	Excel基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	Excel基礎学習	起動、画面構成、入力設定
	2	Excel基礎学習	セルの選択、データ入力
	3	Excel基礎学習	セルの書式設定
	4	Excel基礎学習	行と列の編集
	5	Excel基礎学習	行と列の編集
	6	Excel基礎学習	ブックの保存、終了
	7	Excel基礎学習	関数とグラフ
	8	Excel基礎学習	関数とグラフ
	9	Excel基礎学習	データ抽出
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの基本操作が出来るようになる ・簡単な関数が組めるようになる ・グラフが作成できるようになる 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	Excel基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	Excelのまとめ	前期の総復習
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ・3級自動車整備士過去問題プリント		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	2	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	3	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	4	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	5	ガソリンエンジン	3級ガソリン過去問題プリントにて復習・まとめ
	6	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	7	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	8	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	9	ジーゼルエンジン	3級ジーゼル過去問題プリントにて復習・まとめ
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策&ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	2	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	3	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	4	シャシ	3級シャシ過去問題プリントにて復習・まとめ
	5	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	6	二輪	3級二輪過去問題プリントにて復習・まとめ
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	就職実務	指導担当者名	山本 巧
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	面接対策 & ビジネスマナーテキスト・ワークブック		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	社会人になるとは	心構え・求められる資質・職場での基本マナー
	2	基本動作・言葉遣い	姿勢・歩き方・表情・発声練習・敬語の基本・話し方・聞き方
	3	面接の目的	面接について考える
	4	自己分析・自己PR・志望動機作成	自己分析をし自己PR・志望動機の作成
	5	履歴書作成	履歴書の書き方と作成
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	81時間	週時間数	14.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ガソリンエンジン総論	燃焼方式・バルブタイミング・性能
	2	ガソリンエンジン本体	レシプロエンジンの概要・構造・機能
	3	潤滑・冷却装置	オイルの循環・油圧制御・電動ファン・電動ウォーターポンプの構造・機能
	4	燃料・吸排気装置	燃料噴射装置・過給機の概要・構造・機能
	5	シャシの総論	自動車の発達・性能
	6	動力伝達装置	AT・CVTの構造・機能
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	構造・性能学		指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	54時間	週時間数	14.4時間	
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 			
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 			
使用教材	2級自動車シャシ・2級2輪自動車・2級自動車ジーゼルエンジン			
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・電子制御式サスペンションの構造・機能	
	2	スタアリング装置・ブレーキ装置	パワーステアリング・エアブレーキの構造・機能	
	3	二輪の総論・エンジン・シャシ	二輪の発達・性能・エンジン本体・動力伝達装置の構造・機能	
	4	ジーゼルエンジン燃料装置・予熱装置	高圧燃料噴射装置・予熱装置の概要・構造・機能	
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施				

授業計画(シラバス)

科目名	力学・数学	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	基礎自動車工学		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	基礎的な原理・法則	荷重(テコの原理)・軸重・トルク・軸トルクの計算の計算
	2	自動車の諸元	変速比・自動車に働く抵抗・駆動力・登坂能力・燃料消費率の計算
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	半導体の基礎	概要
	2	半導体の基礎	半導体の種類と特質
	3	半導体の基礎	ダイオードの種類・特質
	4	半導体の基礎	トランジスタの種類
	5	半導体の基礎	トランジスタの回路・増幅作用
	6	半導体の基礎	論理回路の種類・特質
	7	半導体の基礎	サーミスタの回路・圧電素子
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電気・電子理論	指導担当者名	松崎 翔太
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	12時間	週時間数	4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	半導体の基礎	論理回路の種類
	2	半導体の基礎	論理回路の特質
	3	半導体の基礎	サーミスタ・圧電素子
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	補助プリント		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	製図の基本・形体の精度	製図の投影方法・大きさや尺度・図形の表し方等
	2	表面性状の図示方法・機械要素部品の製図	表面粗さ・ねじ・転がり軸受け・歯車・ばねの製図
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン		指導担当者名	根本 勝	
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事			実務経験:	有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	9時間	週時間数	1.8時間		
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 				
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	潤滑装置	潤滑システムの点検・整備		
	2	冷却装置	電動ファンの点検・整備		
	3	エンジンの点検整備(ガソリン)	エンジンの基本点検		
	4	エンジンの点検整備(ガソリン)	自己診断システムの点検		
	5	エンジンの点検整備(ガソリン)	自己診断システムの点検		
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施					

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	エンジンの点検整備(ジーゼル)	エンジンの基本点検
	2	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	3	エンジンの点検整備(ジーゼル)	インジェクションポンプの点検・整備
	4	エンジンの点検整備(ジーゼル)	高圧燃料噴射装置の点検・整備
	5	エンジンの点検整備(ジーゼル)	自己診断システムの点検
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	動力伝達装置	クラッチ・AT・CVTの整備
	2	アクスル及びサスペンション	エアサスペンション・アクスルの整備
	3	ステアリング装置	パワーステアリングの整備
	4	ホイール及びタイヤ	ホイール・タイヤの整備
	5	ホイールアライメント	キャンバ・キャスタ・キングピン・トーの測定・調整
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車シャシ		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ブレーキ装置	エアブレーキ・補助ブレーキの整備
	2	保安基準適合性確保	概要・点検の目的
	3	保安基準適合性確保	各部の点検・検査用機器
	4	車検点検	車検点検の概要・内容
	5	定期点検	定期点検の概要・内容
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	バッテリー	バッテリーの整備
	2	始動装置	スターターモータの点検・整備
	3	充電装置	オルタネーターの点検・整備
	4	電子制御装置	概要・センサの構造・機能
	5	電子制御装置	アクチュエータの構造・機能
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	1.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	計器・警報装置	メーター・ホーンの概要・構造・機能・整備
	2	空気調和装置	エアコンの概要・構造・機能・整備
	3	電気装置の配線	電気配線の概要・構造・機能
	4	安全装置及び付属装置	エアバック・カーナビゲーションの構造・機能・整備
	5	回路図	回路図の解読方向
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ガソリンエンジン		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	ガソリンエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本(問診・現象確認・原因の推定・再発の防止)
	2	ガソリンエンジン故障原因探求	故障診断の進め方
	3	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン始動不能)
	4	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)
	5	ガソリンエンジン故障原因探求	不具合現象とその原因探求(エンジン不調)
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ジーゼルエンジン故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本
	2	ジーゼルエンジン故障原因探求	故障診断の進め方・故障診断の手順
	3	シャシ故障原因探求	概要・効率的な診断・診断の基本
	4	シャシ故障原因探求	故障診断の進め方
	5	シャシ故障原因探求	故障診断の点検方法
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両法	自動車の種類・登録・点検整備制度
	2	道路運送車両法	検査・認証制度
	3	道路運送車両法	指定制度・届け出・手数料の納付
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両の保安基準	自動車の構造・装置(原動機・シャシ関係)
	2	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(車体関係・公害防止関係)
	3	道路運送車両の保安基準	自動車の装置(灯火関係・運転操作)
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	エンジン本体	エンジン本体の脱着・タイミングベルト・チェーンの脱着
	2	燃料装置	インジェクションポンプの脱着
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	エンジン整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	エンジン単体、実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	冷却装置	電動ファンの点検
	2	エンジンの点検・整備	外部診断機による点検・調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	動力伝達装置	ATの分解・組立
	2	ブレーキ装置	ブレーキ単体の分解・組立
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	シャシ整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ステアリング装置	ラックピニオン型・ボールナット型ステアリングの分解・組立
	2	ホイールアライメント	ホイールアライメントの調整
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	始動装置	スターターモータの脱着・点検・整備
	2	充電装置	オルタネータの脱着・点検・整備
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	電装整備	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	点火装置	イグニッションコイルの脱着・点検・整備
	2	シヤン電装	基本的な回路図の読み方・現車を使つての確認
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	エンジン故障原因探求	エンジン故障時の基本点検・始動不能・不調の故障診断
	2	エンジン故障原因探求	出力不足・燃料消費量多い車の故障診断
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	故障原因探求	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	63時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	シャシ故障診断	ATの故障診断
	2	シャシ故障診断	ABSの故障診断
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	根本 勝
実務経験	自動車整備工場にて自動車整備業務に13年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	54時間	週時間数	28.8時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	レポートの内容を復習する		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	検査用機器	ブレーキテスタ・ヘッドライトテスタ・サイドスリップテスタの用途、構造、機能の確認
	2	継続検査作業	受け入れ検査・中間検査・完成検査・まとめ
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・wordの基本操作を学び、案内文などを作成できる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	word基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習 の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	word基礎学習	起動、画面構成、入力設定
	2	word基礎学習	文章入力、修正と記号
	3	word基礎学習	章末問題 文章の入力
	4	word基礎学習	文章の書式設定、スクロールと画面操作
	5	word基礎学習	範囲選択、削除・コピー・移動の方法
	6	word基礎学習	改ページ、ヘッダーとフッターの挿入
	7	word基礎学習	文書の保存とファイル形式
	8	word基礎学習	章末問題 基本操作
	9	word基礎学習	章末問題 応用操作
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	OA実習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	3.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	・wordの基本操作を学び、案内文などを作成できる		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・期末試験 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	word基礎学習・ノートパソコン		
授業外学習の方法	該当範囲の予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	word基礎学習	前期の総復習
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	32.4時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	3級自動車整備士過去問・3級自動車ガソリンエンジン・3級自動車ジーゼルエンジン・3級自動車シャシ		
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車のセキュリティ	セキュリティの歴史
	2	自動車のセキュリティ	セキュリティの種類
	3	自動車のセキュリティ	セキュリティの重要性
	4	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	5	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	6	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	7	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	8	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	9	3級問題の復習	3級自動車整備士の過去問題復習
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	21.6時間	週時間数	3.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学・法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	5	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	6	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	国家試験対策	指導担当者名	根本 勝
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	27時間	週時間数	5.4時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・二級自動車整備士資格取得を目指す ・自動車整備基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	2級整備士過去問プリント・2級自動車ガソリンエンジン・2級自動車ジーゼルエンジン・2級自動車シャシ・法令教本		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家2級整備士対策問題	2級エンジン分野過去問題
	2	国家2級整備士対策問題	2級シャシ分野別過去問題
	3	国家2級整備士対策問題	2級の基礎工学・法令分野別問題
	4	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	5	国家2級整備士対策問題	2級整備士過去問題(模擬試験)
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	図面学	指導担当者名	吉田 純
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	図面学(製図編)		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	製図の基本、形体の精度、表面性状の図示方法、機械要素部品の製図	図形の投影方法・用紙の大きさと尺度・線の種類と用途・図形の表し方、幾何公差表示方式・独立の原則・最大実体公差方式、除去加工の指示・表面粗さ、ねじ・転がり軸受・歯車の製図
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	材料・力学・構造・性能	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	21.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	自動車の車体の材料	金属材料の一般的性質、鋼材の熱影響、鉄鋼材料、アルミニウム
	2	自動車の強度・力学	はりの支点と反力、荷重分布計算の必要性、荷重分布の計算例
	3	車体の構造	衝突安全ボデー、歩行者障害軽減構造、エンジンの配置による分類、フレーム形状による分類
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	整備	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	63時間	週時間数	27時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	乗用車の整備	計測、フレーム修正機による整備、部品の取替、溶接部品の交換
	2	トラックの整備	トラック・フレームの狂いの分類、フレームの狂いの測定方法と使用工具、フレームの狂い修正、き裂の修理、補強板、リベット作業
	3	バス	フレーム構造、ボデー構造
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	板金	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	63時間	週時間数	27時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	鋼板の損傷	損傷状態の種類
	2	板金作業	板金作業の方法と工程
	3	溶接	電気抵抗スポット溶接、ガスシールドアーク溶接、ガス溶接、電気アーク溶接
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	塗装	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	63時間	週時間数	27時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	塗装材料	塗料の構成、前処理剤、下塗り塗料、中塗り塗料、上塗り塗料
	2	塗装の乾燥機	溶剤揮発形乾燥、反応形乾燥
	3	塗装設備、機器	塗装工場のエア配管、エアスプレガン
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	損傷診断	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	36時間	週時間数	21.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	損傷診断に必要な基礎知識	損傷診断の基本要件
	2	損傷診断に必要な基礎知識	損傷診断に必要な基礎知識
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査学	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	18時間	週時間数	12.6時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教材		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	車体の整備と検査	車体構造・機能、車体強度、車体耐久性の確保
	2	車体の整備と検査	車体外観の復元、検査における計測の重要性
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	自動車整備法規	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	9時間	週時間数	9時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	法令教材		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	道路運送車両の保安基準	車枠及び車体「強度」「衝突安全性」「車体表示」「突起と回転部分」「リヤオーバーハング」
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	点検・分解・組立	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	270時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	トラムトラッキングゲージ、センタリングゲージ、ポートパワー、ボディクランプ		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	計測	計測の基本要件
	2	計測	車体寸法図
	3	計測	計測器の種類
	4	フレーム狂いの測定	フレームセンタリングゲージ 上下曲がり
	5	フレーム狂いの測定	フレームセンタリングゲージ 左右曲がり
	6	フレーム狂いの測定	フレームセンタリングゲージ ねじれ
	7	フレーム狂いの測定	フレームセンタリングゲージ 菱曲がり
	8	フレーム狂いの測定	トラムトラッキングゲージ 左右曲がり、菱曲がり、つぶれ
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	調整・検査・板金	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	270時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	ミグ溶接機、スポット溶接機、スタッド溶接機、板金ハンマー、ドリル		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ボデー、フレーム修正用機器	床式フレーム修正機
	2	ボデー、フレーム修正用機器	台式フレーム修正機
	3	ボデー、フレーム修正用機器	ベンチ式フレーム修正機
	4	ボデー、フレーム修正用機器	可搬式油圧ラムユニット
	5	溶接	電気抵抗スポット溶接
	6	溶接	ガスシールドアーク溶接
	7	溶接	ガス溶接
	8	溶接	電気アーク溶接
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	塗装	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	117時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両・塗装ガン		
授業外学習 の方法	レポート内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	下塗り塗装	プライマ、パテ類
	2	中塗り塗装	プライマサフェーサー、シーラー類
	3	上塗り塗装	一液型、二液型
	4	安全と衛生	作業者の注意事項
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	損傷診断	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	72時間	週時間数	36時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	車体の損傷診断	車体の衝撃吸収特性
	2	トラックの損傷診断	キャブ、リヤボデー、フレームの損傷診断
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	検査作業	指導担当者名	吉田 純
実務経験	自動車ディーラーにて自動車整備業務に6年間従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数	27時間	週時間数	27時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	実習車両		
授業外学習 の方法	該当範囲を事前に予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	車体の損傷診断	事故車両の車体構造、復元検査
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			

授業計画(シラバス)

科目名	総合学習	指導担当者名	吉田 純
実務経験			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	自動車車体工学科3年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	54時間	週時間数	27時間
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界への就職を目指す ・車体整備士資格取得を目指す ・板金塗装の基礎技術取得を目指す ・就職活動において活用できる一般常識習得を目指す 		
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・授業態度 ・提出課題(各項目の確認をする為の課題提出) ・期末試験等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する 		
使用教材	車体整備・補助プリント		
授業外学習の方法	前回の内容の復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	2	国家試験対策	車体整備士国家試験の対策問題実施
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が95%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用実施			